

災害に備えて

●いざというときのために確認しておきましょう

連絡方法

家族が別々の場所にいるときに災害が発生した場合に備えて、日頃から安否確認の方法や集合場所などを話し合っておきましょう。災害時には、携帯電話の回線がつながりにくくなる場合もあります。その場合には以下のサービスを利用しましょう。

災害用伝言ダイヤル 171

局番なしの「171」に電話をかけると伝言の録音と再生ができます。

災害用伝言板

インターネットを利用して文字情報を登録したり、登録された情報を見たりすることができます。

避難場所や避難経路

いざ災害が起きたときにあわてずに避難するためにも、市のホームページや防災マップ、ハザードマップを確認し、避難場所や避難経路を事前に確認しておきましょう。



「防災情報」

●日頃から備えておきましょう

健康状態

現在受診している病院や治療内容・持病などがわかるようにしておきましょう。災害はいきなり発生するものです。自身や家族のかかりつけ医や服用している薬などメモしたもの(お薬手帳の写し)を携帯しておくことで安心です。

家具の置き方

家具は転倒しないように壁に固定し、寝室や子ども部屋にはできるだけ家具を置かないようにしましょう。すぐ手の届くところに、懐中電灯やスリッパ、ホイッスルを備えておくことで安心です。

食料・飲料など

電気やガス、水道などのライフラインが止まった場合に備えて、普段から飲料水や保存の効く食料などを通常3日分(大災害に備えてできれば7日分)は準備しておきましょう。また、自宅が被災したときは、避難生活を送ることになります。もしものときに、いつでも持ち出せるように**非常用持ち出しバッグ**を準備しておきましょう。

非常用持ち出しバッグの内容例

- 飲料水、食料品(アルファ米、缶詰、お菓子など)
- 貴重品(預金通帳、印鑑、現金、マイナンバーカードなど)
- 救急用品(ばんそうこう、包帯、消毒液、お薬手帳など)
- 自分にしか合わないもの(めがね、常備薬など)
- ヘルメット マスク 軍手 懐中電灯
- モバイルバッテリー 衣類 毛布 タオル・バスタオル
- 使い捨てカイロ ウェットティッシュ・除菌ジェル 携帯トイレ など

乳幼児用として下記の物も準備しておきましょう

- 母子健康手帳 紙おむつ ミルク 哺乳瓶か紙コップ
- 清浄綿 おしりふき 抱っこひも 授乳服かケープ
- おもちゃ 離乳食 圧縮袋 ビニールシート など



※首相官邸ホームページ(<https://www.kantei.go.jp/jp/headline/bousai/sonae.html>)の情報をもとに株式会社ジチタイアドが作成したものです。

「暮らし」をつくりたい。

単に家という「箱を造る」だけでなく家族が求める暮らしの「場を創る」

それが私たちナカザトコウムテンの家づくりに込めた想いです。



アトリエ建築家と創る高性能なデザイン住宅

高気密・高断熱・高耐震の高性能な施工はもちろん、
 永く住まうご家族の生活スタイルに寄り添い、土地の環境も考慮したデザイン性あふれる設計を。

お子様が健やかに成長できる、快適で安心な暮らしを創ります。

